

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部長寿介護課	■担当係	高齢福祉係
■評価事業名称	シルバー人材センター運営費補助金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	043100 - 026	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	02 高齢者や障がい者などの自立した生活への支援	
	■施策	02 高齢者が活躍できる場の確保	
■事業の種類	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の努力義務(自治事務)		
■法令等の名称	高齢者等の雇用の安定等に関する法律		
■関連計画の名称			
■事業の概要	高齢者の豊かな知識と経験を生かした就業の機会を確保し社会参加による生きがいを支援する。高齢者の知識と経験を生かした社会参加による生きがいを支援する高年齢者等の雇用の安定等に関する法律(高年齢者雇用安定法)に基づき設立された社団法人北上市シルバー人材センターを支援するため、国の高年齢者就業機会確保事業等補助金に相当する額を補助する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	シルバー人材センター運営費補助金	高齢者	登録会員数420人 受注件数2,600件	登録会員数349人 受注件数 2,549件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	7,281	7,970	8,000	8,531	
人件費	460	223	150	153	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	7,741	8,193	8,150	8,684	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	会員数	419人	392人	371人	349人	
	受注件数	2,519件	2,346件	2,466人	2,535人	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

会員が減少傾向にあるが、受託件数は増加している。

問題点・課題等

高齢者数の増加に伴い、高齢者の生きがいづくりと福祉の増進のためには必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

国は「シルバー人材センター事業の執行方針」に基づき、地方公共団体が国と同額の補助金を交付することを前提に、「高齢者就業機会確保事業等補助金」と「雇用開発支援事業費補助金」を合わせて交付しているおり、市は同額を補助している。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了